

2020年度 年末手当シリーズ③④

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

まだまだ続くコロナ禍の中で奮闘する本部のみなさん、現場で危険と隣合わせの中で働く社員のために満額獲得に向けともに頑張りましょう！

社員は会社の宝です。モチベーションを高めるためにも**3.0ヶ月**を！

会社は近年、人員を削減したり、仕事の押し付けなどやりたい放題だ！
仕事の量の増加や事務で行っていたことを、自分自身が自分の時間を使って行っている。それなのに、ボーナスの減額はいかななものだと考える。
本部交渉団にはぜひ頑張ってもらいたいです！

年末手当は労働者のモチベーションを上げるために、頑張るしかない！

生活補填の年末手当！
会社は労働者の声を聞くべきである。労働者のモチベーションを上げることが、会社の発展に繋がる！

コロナ禍の状況を見たときに、労働組合として3.0ヶ月要求はどのようなかな？

コロナ禍において、社員のやる気を失わせるような回答では納得いかない！
必死の闘いです！

エルダー社員にとって、ボーナスは少ない賃金の補填のための生活給である。会社には支払いできる体力は十分にある！粘り強く交渉を続けて欲しい！

今まで過去最高の収益を上げていたときも我慢させられた！一度の赤字というだけでは我慢できない。会社はぜひ満額回答を出すべきだ！

コロナ禍において、他の労働者の見本となれるように、また、今後のJR労働者のモチベーションが上がるよう期待しています！

いま、職場の中で「年末手当は3ヶ月ほしい」との声が、あちこちから聞こえてきます！私たちの取り組みによって、職場のムードが変わってきています！